

Market Report

2024年11月号

インドネシアのFFB生産の見通し

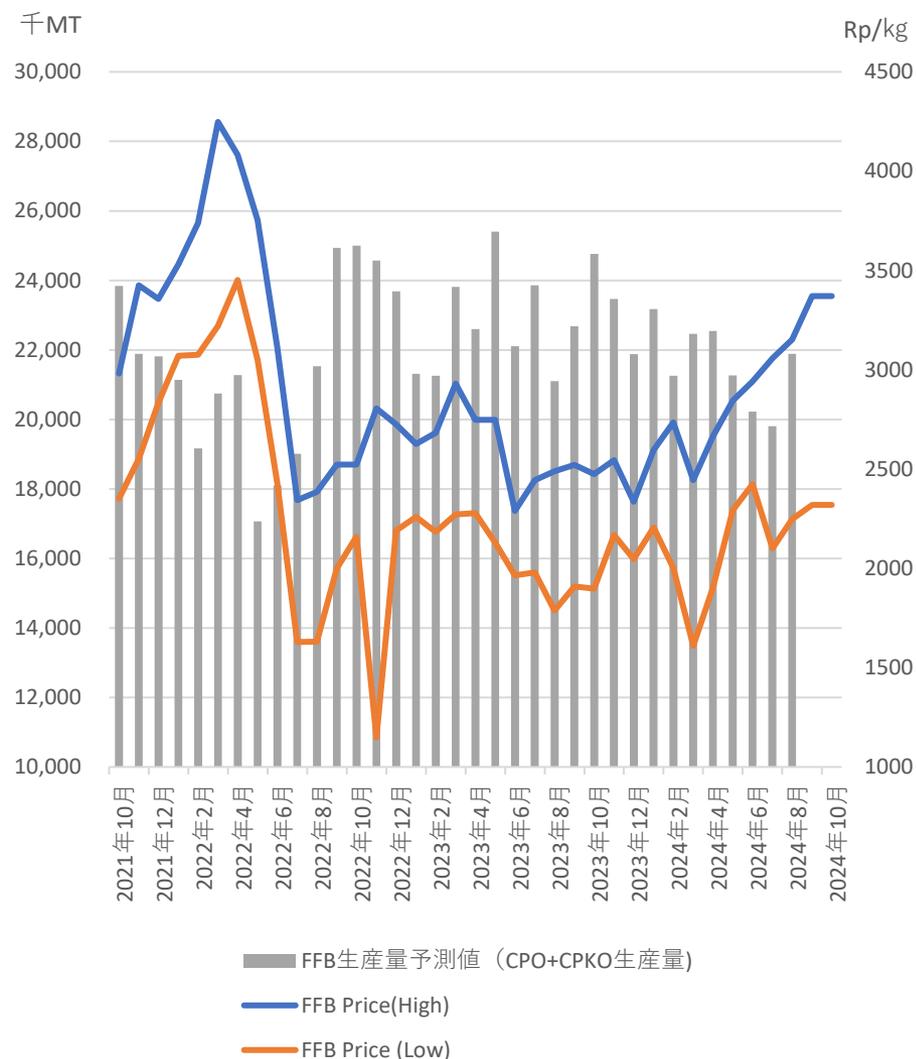
1. 実績

2024年10月のインドネシア国内22州でのF作付年齢10~20年の平均FFB価格は2,824Rp/kgであり、前月の9月より約4%価格が上昇している。10月中の最高価格は、西スマトラ州で3,371Rp/kg、最低価格は、西パプア州で、2,320Rp/kgであった。

2. FFB生産量予測

7月から8月にかけてFFBの生産量が増加している。乾季による収穫のピークシーズンにより、収穫量が増加しているとおもわれる。10月以降は、インドネシア全体で雨期に入り、生産量が落ちていくと予想される。

インドネシア国内のFFB価格(最大・最小)
パームオイル生産量から推定されるFFB生産量

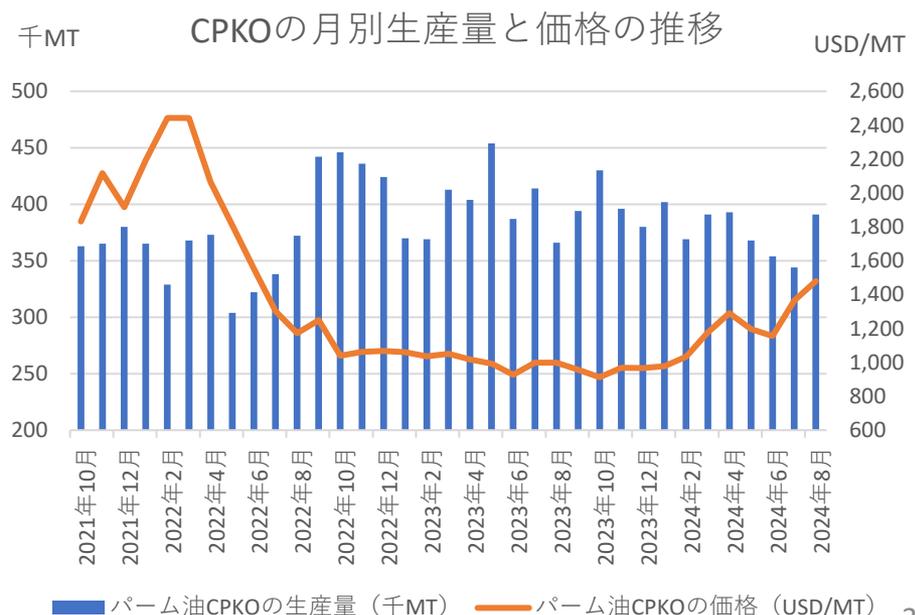
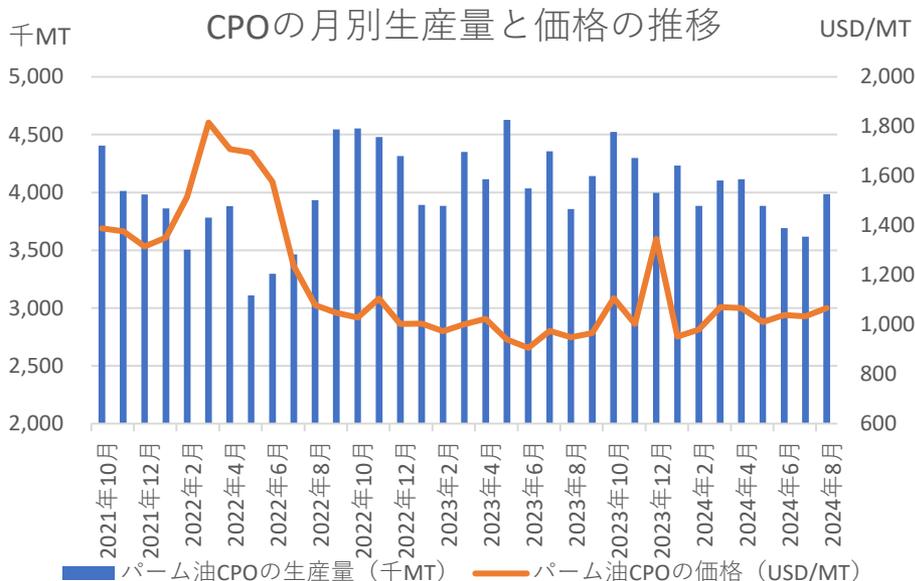


インドネシアのパーム油CPO及びCPKOの生産量及び価格見通し

実績

CPO（CIFロッテルダム）の平均価格は2024年9月の13,353 Rp/kgと比較して2024年8月は12,958Rp/kgとなり、396 Rp/kg（前月比で約3%）上昇した。また、2023年9月のCPO平均価格10,863 Rp/kgと比較すると、2,491 Rp/kg（前年比で約23%）上昇した。

CPKO（CIFロッテルダム）の平均価格は2024年9月の15,15 USD/MTと比較して2024年8月は14,80 USD/MTとなり、35 USD/MT（前月比で約2%）上昇した。また、2023年9月のCPO平均価格958 USD/MTと比較すると、557 USD/MT（前年比で約58%）上昇した。



インドネシアからのPKSの輸出量及び輸出額見通し

実績

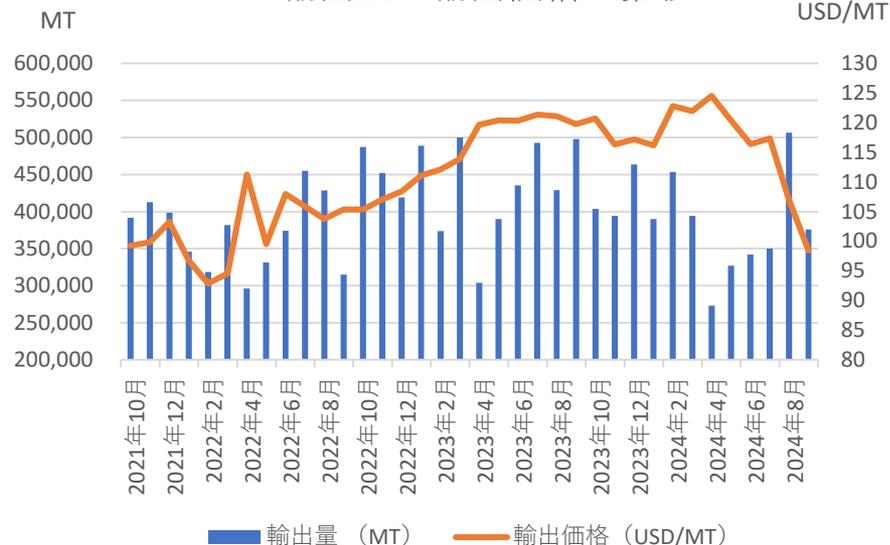
2024年9月のインドネシアのPKS輸出量は、375,928トンとなり、8月の輸出量506,623トンと比較すると130,695トン（前月比で約26%）の減少となった。

前年2023年9月のPKS輸出量497,957トンと比較すると、2024年9月の輸出量は122,029トン（前年比で約25%）減少した。

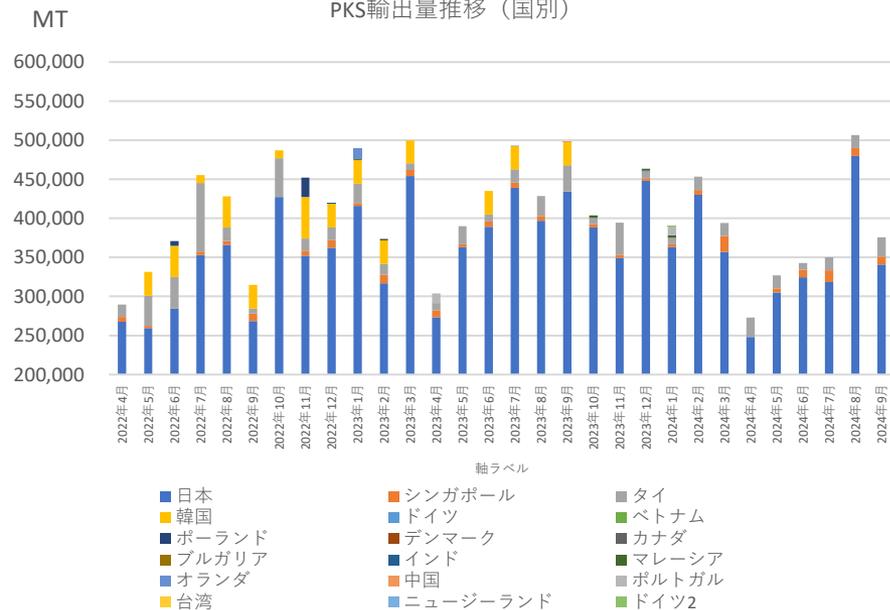
2024年9月のPKS輸出額は37,010,922USDを記録した。

2024年9月最大の輸出先は日本であり、輸出量は340,948トン、外貨換算額は34,286,523USDを記録した。（日本へのPKS輸出量は、インドネシア全体の輸出量の約91%を占める）日本への輸出量を8月の輸出量479,630トンと比較すると138,682トン（前月比で約29%）の減少となった。

PKS輸出量と輸出価格の推移



PKS輸出量推移（国別）



インドネシアからのPKSの輸出量及び輸出額見通し

1. CPO価格、FFB価格の見通し

パーム生産国であるインドネシアがB40のバイオディーゼル(CPO:40%、軽油60%の混合燃料)の販売計画に伴い、国内CPOの需要が高まり、FFB、CPOの価格は引き続き、上昇の傾向が続くと見込まれる。

2. PKS価格の見通し

一度大きくPKSの輸出量が落ち、PKSの価格も落ちたが、輸出量は回復傾向にある。また、11月のFFBとCPOの生産量が雨期の影響で減少すると推定される。その結果、今後のPKS需要の増加とPKSの供給量が少ない状態が続き、価格が上昇する可能性がある。

3. インドネシア国内の政策

パーム生産国であるインドネシアがB40のバイオディーゼル(CPO:40%、軽油60%の混合燃料)の販売計画に伴い、国内CPOの需要が高まっている。
また、B40の国内供給に関連して、CPOの輸出制限を強化する可能性がある。